

全教科共通
課題解決的な学習活動の充実
- 自分の思いや考えを伝える力の育成 -



児童の発達の段階に応じて、全教員確実に実施する事項	国語	☐ 短文を書く習慣 ※日頃から機会を積み重ね、書くことへの抵抗感を和らげる。 ☐ 本を読みたくなる環境作り ※進んで読書に取り組めるようにする指導を行う。
	社会	☐ 「どのように」「なぜ」 ※社会的事象の意味や理由、背景が一体的に理解できるよう、キーワードで課題を設定する。 ☐ 自分で考える場面の設定 ※既習の知識を比較・分類・総合・関連付けた指導を意識する。
	算数	☐ めあて⇒個人⇒全体⇒まとめ⇒練習問題⇒振り返り ※授業の流れをパターン化し、児童に見通しをもたせて主体的に学習を進められるようにする。 ☐ 自分の考えを表現 ※自力解決の際、数直線や図、絵、言葉等を課題に合わせて自在に活用し表現する能力を高めるために、日頃からそれらを活用して表現する習慣を身に付けさせる。
	理科	☐ 問題⇒予想⇒実験⇒結果⇒考察⇒結論 ※問題解決の流れが視覚的にも分かるようにし、流れに沿った板書を工夫する。 ☐ 体験的活動の重視 ※児童一人一人が器具や機材に多く触れて実験を体験できるようにする。

- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善と基礎学力の向上のために
- 全教科において、課題解決的な学習を実施し、対話を通して自分の思いや考えを伝え合い、仲間との協働による授業を実施する。
 - 4教科については、児童の発達段階に合わせて全教員が実施し、年度末の学校評価時における指導の実施率100%を実現する。
 - 家庭との連携を積極的に行い、保護者とともに児童の学力を高める取り組みを実施する。